

ひらかたモデル作成に向けて

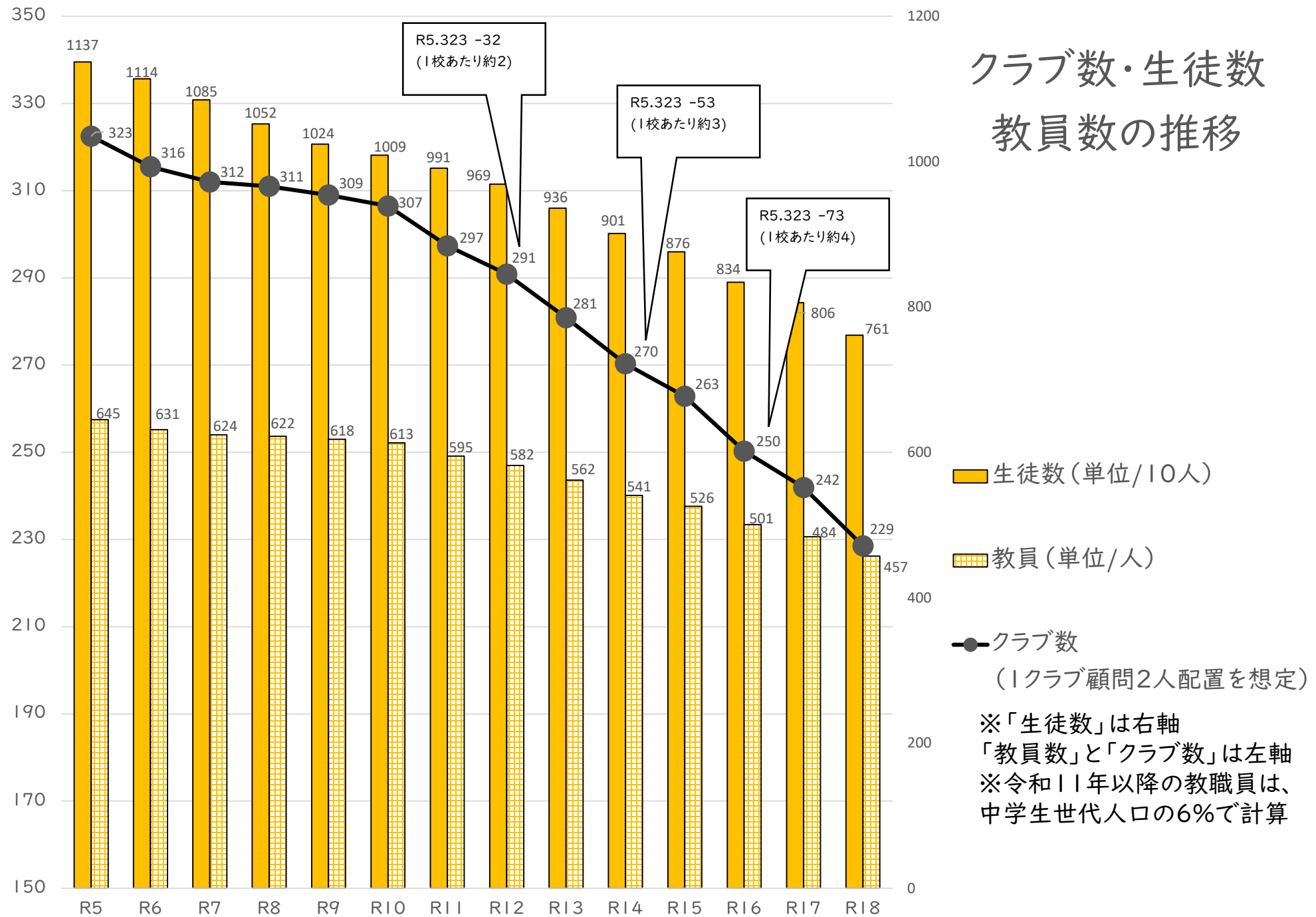
めざす姿

- 少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して親しむことができる機会**を確保
- **地域の持続可能**で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保

ひらかたモデル策定のための課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策（教員の兼職兼業含む）
- (2) スポーツ施設の確保方策
- (3) 会費の在り方
- (4) 保険の在り方
- (5) 保護者・地域への周知方法について
- (6) 部活動に係る備品について
- (7) 新たな課題検証

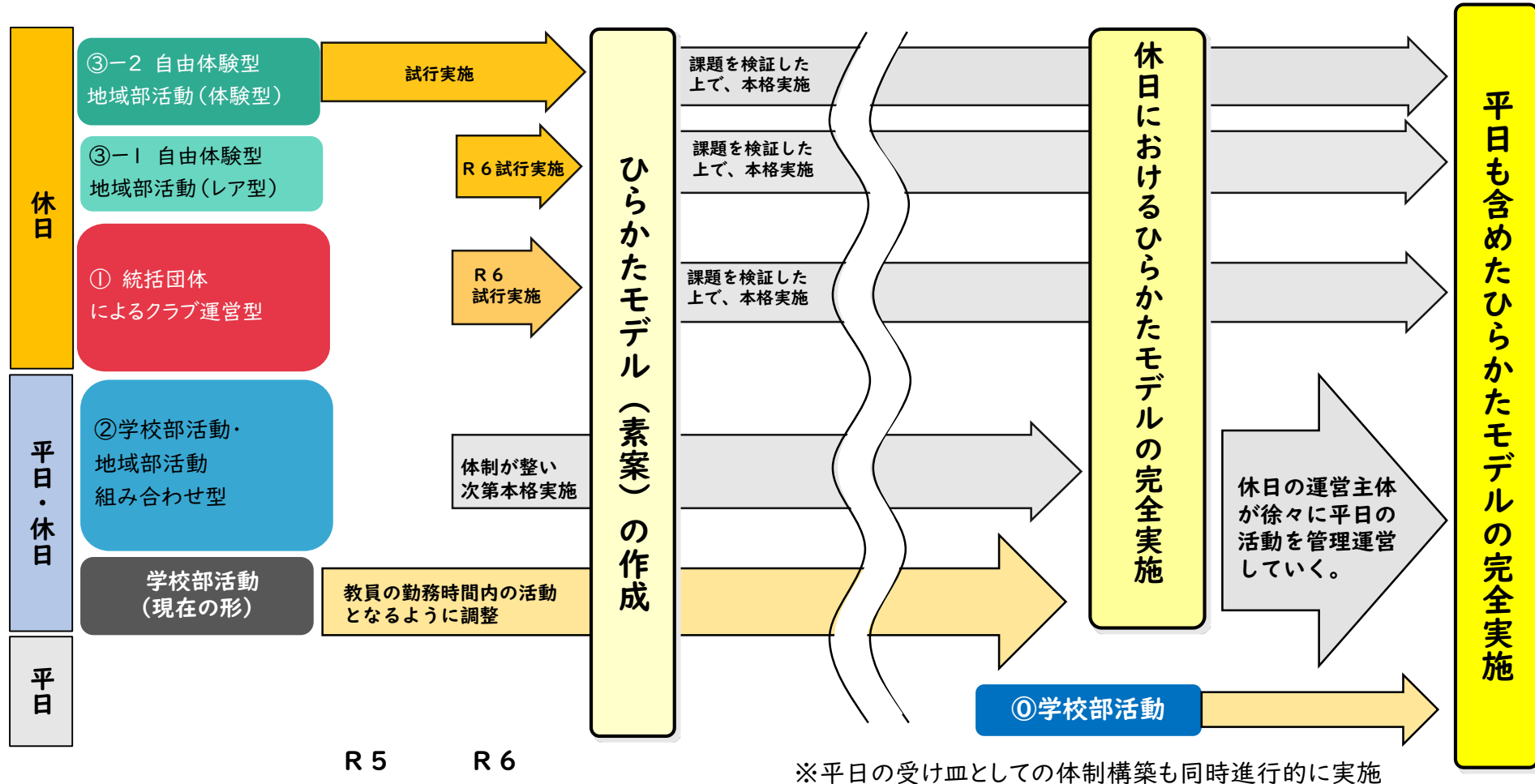
クラブ数・生徒数 教員数の推移



ひらかたモデル ロードマップ(平日含む) (案)

枚方市のめざす姿

- ・少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して 親しむことができる機会**を確保
- ・**地域の持続可能**で多様なスポーツ・文化 芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保



※試行実施で運営主体や責任の所在を整理しながら課題を解決したうえで本格実施につなげる。

① 統括団体によるクラブ運営型

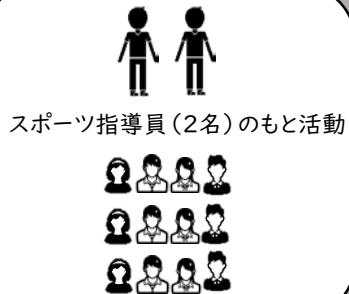
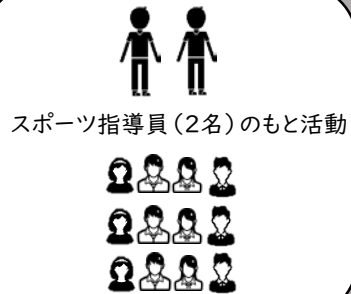
会場は学校

各年間45回程度（原則土日いずれか週1回3時間）

統括団体（事務局機能・参加者募集・人材バンク・指導者派遣・会費徴収）

A中学校

学校コーディネーター（1名）の配置



B中学校

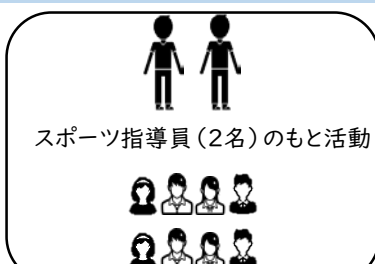
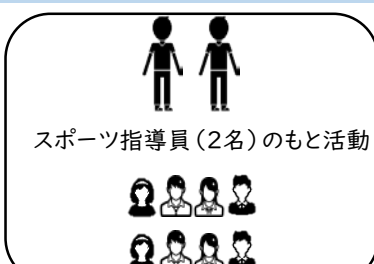
学校コーディネーター（1名）の配置



拠点クラブA（活動場所は学校）



拠点クラブB（活動場所は学校）

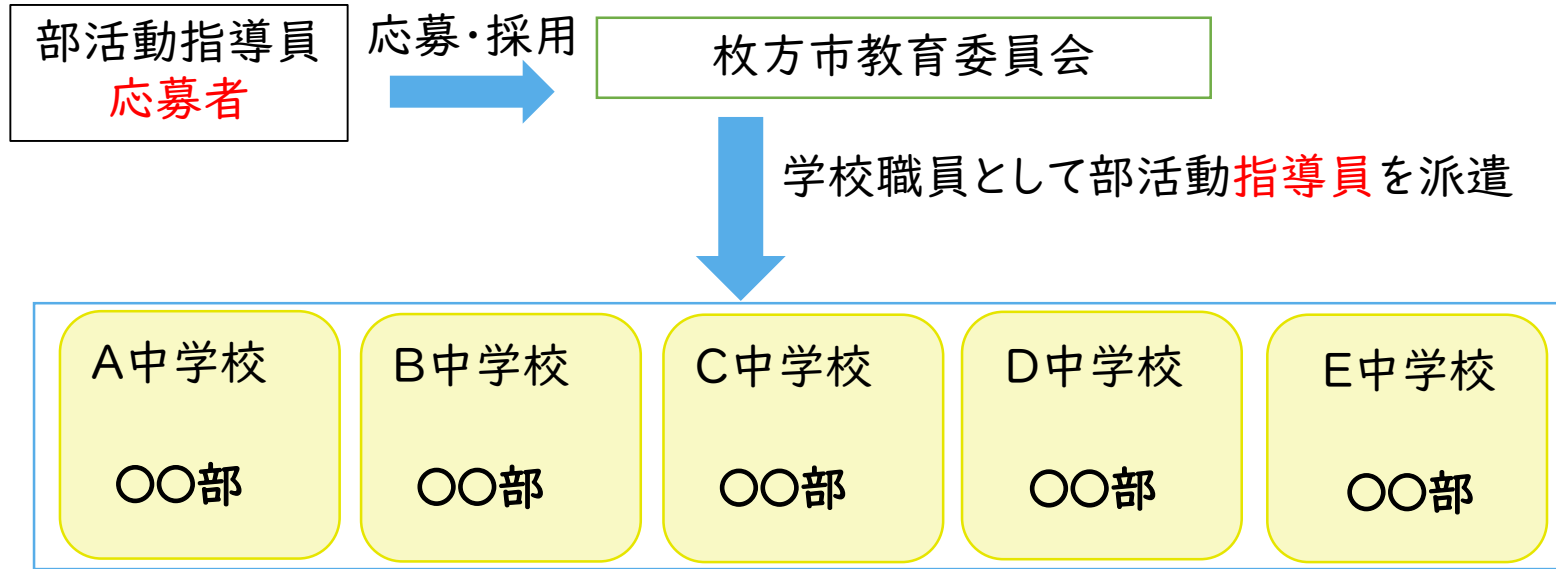


拠点クラブC（活動場所は学校）



② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型

部活動指導員を学校部活動に派遣する



現在、枚方市で派遣している部活動指導協力者とは異なる。

部活動指導員とは

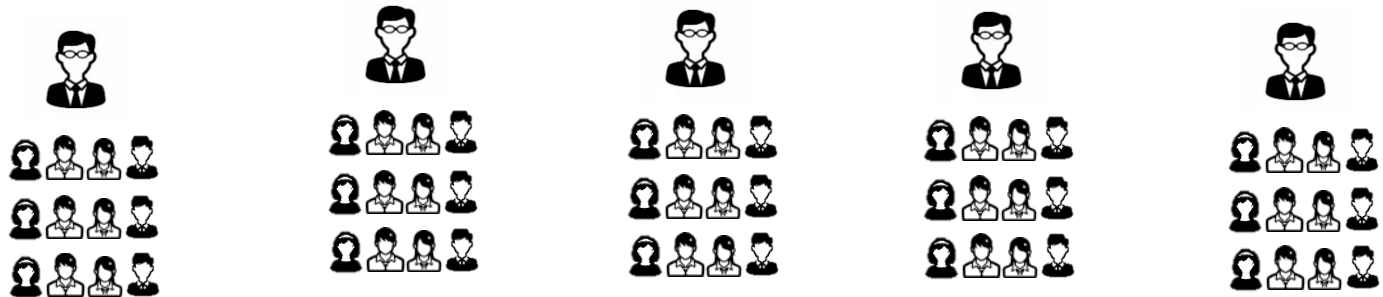
- ・顧問が不在の時にも1人で指導や引率のできる職員
- ・大会や練習試合での引率も可能
- ・市によって採用され、学校職員の1人としての位置づけ
- ・平日休日含め1つのクラブに1人の配置

部活動指導協力者とは

- ・顧問の監督のもとで技術指導にあたるボランティア
- ・自校での練習であっても顧問教員が必要
- ・大会や練習試合での引率は1人ではできない(顧問の引率が必要)

平日

休日



指導員は平日2時間(週4回) 休日3時間(週1回)の勤務で
生徒は平日・休日を問わず、部活動指導員のもと活動する。
大会への引率も可能

③ー1 自由体験型 地域部活動(レア型)

会場は学校外

各年間40回程度 (原則土日いずれか週1回3時間)

統括団体(事務局機能・参加者募集・人材バンク・指導者派遣・会費徴収)

学校にはない
種目



会場A

ダンスクラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場B

Eスポーツクラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場C

BMXクラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場D

けん玉クラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場E

ボッチャクラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場F

スケートボードクラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場G

メディアクラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場H

写真クラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場I

モルッククラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場J

総合運動クラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



会場K

総合文化クラブ



スポーツ指導員(2名)のもと活動



③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)

市内大学

市内大学

市内大学

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

オンライン指導者研修

各クラブ年9回~12回程度を大学生がマネジメントして行う
会場は各大学及び市内中学校での実施も

原則1サイクル3回のを3回~4回実施

覚書の
締結

枚方市

広報ひらかた・市SNSなどで定期的な周知

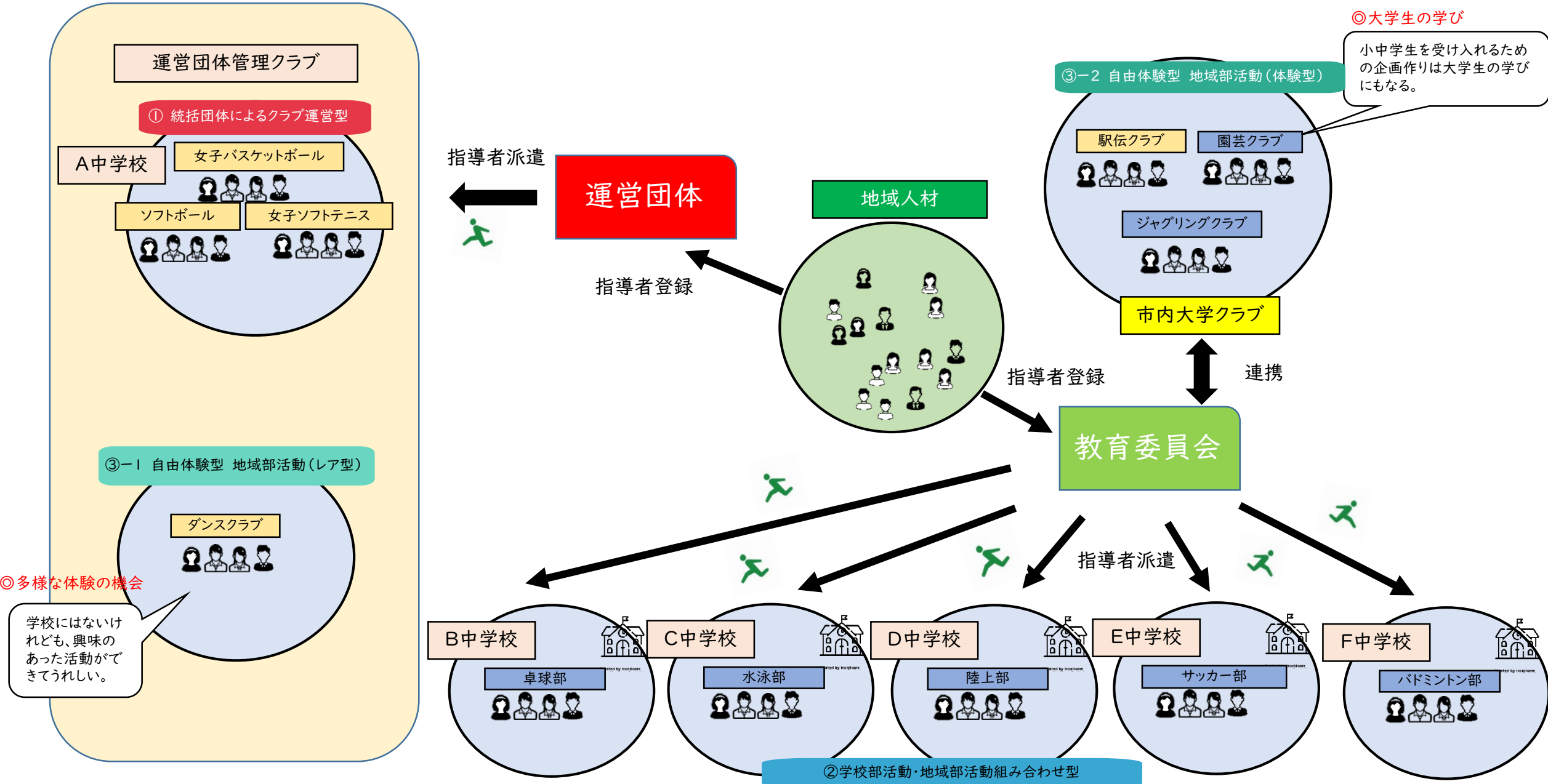
前年度参加者のインタビュー動画
大学生によるPR動画作成

対象:枚方市立学校在籍の小学校5年生から中学校3年生
(保護者も体験できるプログラムをつくる)

区分	生徒の希望	活動場所	指導者	参加者の費用負担	
				参加費	保険料
<p>① 統括団体によるクラブ運営型</p> <p>統括団体により地域クラブを運営していく形</p>	<p>大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校 ・拠点校 ・外部施設等 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の専門人材 ・有資格の外部人材 ・教員の兼業 	検討課題	検討課題
<p>③-1 自由体験型 地域部活動 (レア型)</p> <p>統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形</p>	<p>大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす</p>	<p>外部施設等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の専門人材 ・有資格の外部人材 ・教員の兼業 		
<p>② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型</p> <p>現在の部活動に外部指導者を派遣する形</p>	<p>大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす</p>	<p>学校</p>	<p>有資格の外部人材</p>	<p>無料 (市の負担 国の補助 金)</p>	<p>なし</p>
<p>③-2 自由体験型 地域部活動 (体験型)</p> <p>大学等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形</p>	<p>様々なスポーツや文化に親しむことをめざす</p>	<p>大学等</p>	<p>学生等</p>	<p>無料 (市の負担)</p>	<p>年800円 (参加者の負担)</p>
<p>④ 授業の延長的活動型 学校部活動</p> <p>授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員等が対応する形</p>	<p>様々なスポーツや文化に親しむことをめざす</p>	<p>学校</p>	<p>教員</p>	<p>無料</p>	<p>なし</p>

中学校全生徒数9407人 部活動所属生徒数8254人	指導者数	年間総事業費	負担の内訳		生徒一人あたり 運動部+プラスバンド部=6891人の7割 参加4823人で試算
区分 (①型②型は指導者謝金のみ)			保護者	市	
①-1 統括団体によるクラブ運営型 Sエキスパート型 (指導者謝金 4000円/1時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形 (年45回) <u>294クラブ (運動部+プラスバンド部)</u>	2人	330,750,000円	検討課題		68,577円/年 5,714円/月 保険料800円/年
①-2 統括団体によるクラブ運営型 エキスパート型 (指導者謝金 3000円/1時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形 (年45回)	2人	251,370,000円			52,119円/年 4,343円/月 保険料800円/年
①-3 統括団体によるクラブ運営型 スタンダード型 (指導者謝金 1600円/1時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形 (年45回)	2人	140,238,000円			29,076円/年 2,423円/月 保険料800円/年
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型 (指導者謝金 1600円/1時間) 現在の部活動に外部指導者 (部活動指導員) を派遣する形 <u>739,200円 (平日含む) /1人 343部活 (現状 文化部+運動部)</u>	1人 2人	253,545,600円 507,091,200円	0円	0円	部活動全参加者8254人で試算 1人: 30,717円/年 2人: 61,435円/年
③-1 自由体験型 地域部活動 (レア型) (指導者謝金 1600円/1時間 交通費500円) 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形 (年40回) <u>20クラブ 会場使用料10000円/1回 消耗品費1クラブ50000円/年 事務手数料</u>	2人	20,976,000円	検討課題		1クラブ30人20クラブ=600人の7割参加420人で試算 49,942円/年 4,162円/月 保険料800円/年
③-2 自由体験型 地域部活動 (体験型) 大学部活動等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形 (年10回) <u>8クラブ×10回/年×10000円</u>	大学部活動のメンバー数	800,000円			0円 保険料負担
④ 授業の延長的活動型 学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形	/	0円	0円	0円	参加料なし

令和6年度 試行実施



- ・少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達が スポーツ・文化芸術に**継続して親しむことができる機会**を確保する
- ・**地域の持続可能**で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ 環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保する

◎大学生の学び

小中学生を受け入れるための企画作りは大学生の学びにもなる。

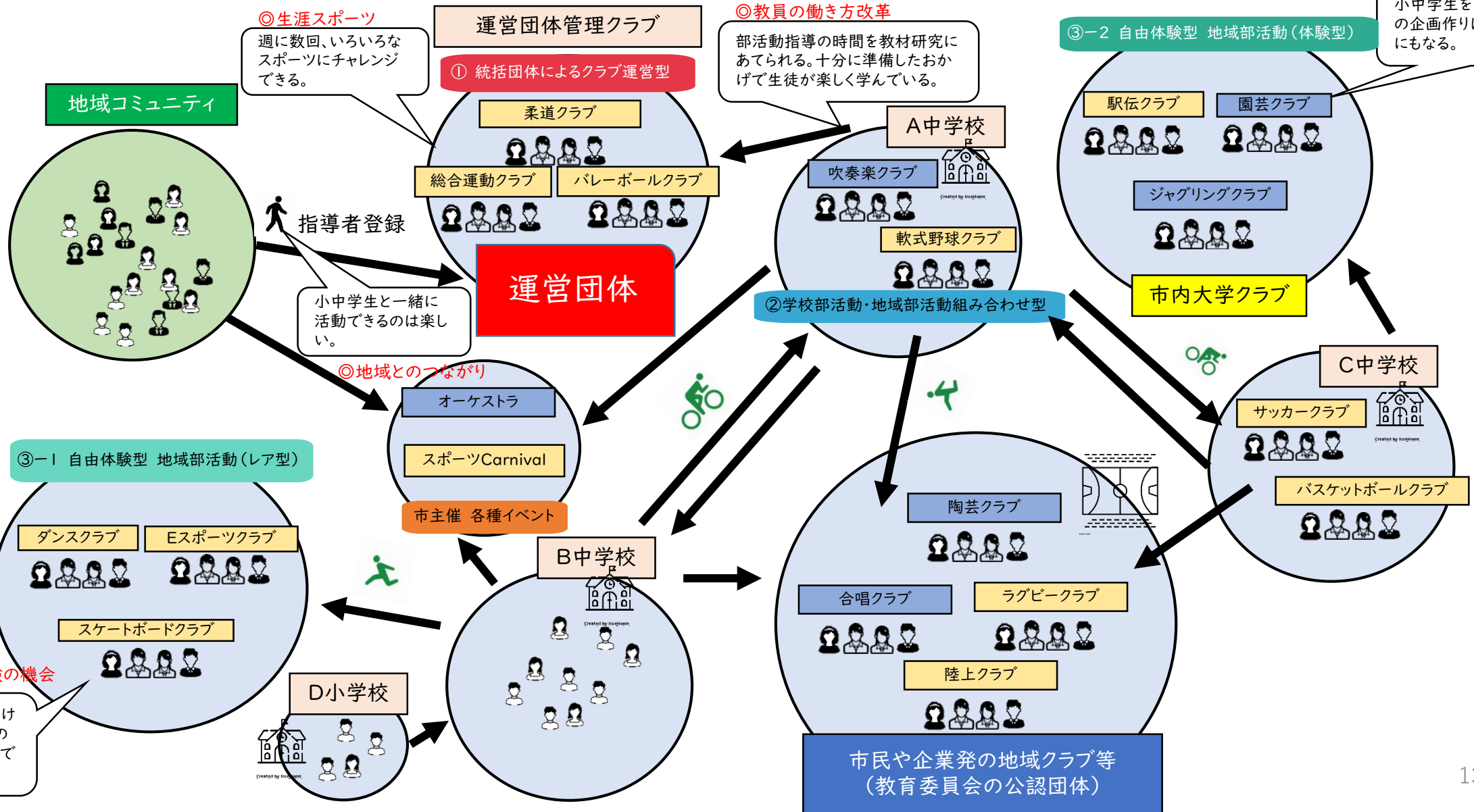
◎生涯スポーツ

週に数回、いろいろなスポーツにチャレンジできる。

◎教員の働き方改革

部活動指導の時間を教材研究にあてられる。十分に準備したおかげで生徒が楽しく学んでいる。

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)



指導者登録

小中学生と一緒に活動できるのは楽しい。

◎地域とのつながり

③-1 自由体験型 地域部活動(レア型)

◎多様な体験の機会

学校にはないけれども、興味のある活動ができてうれしい。